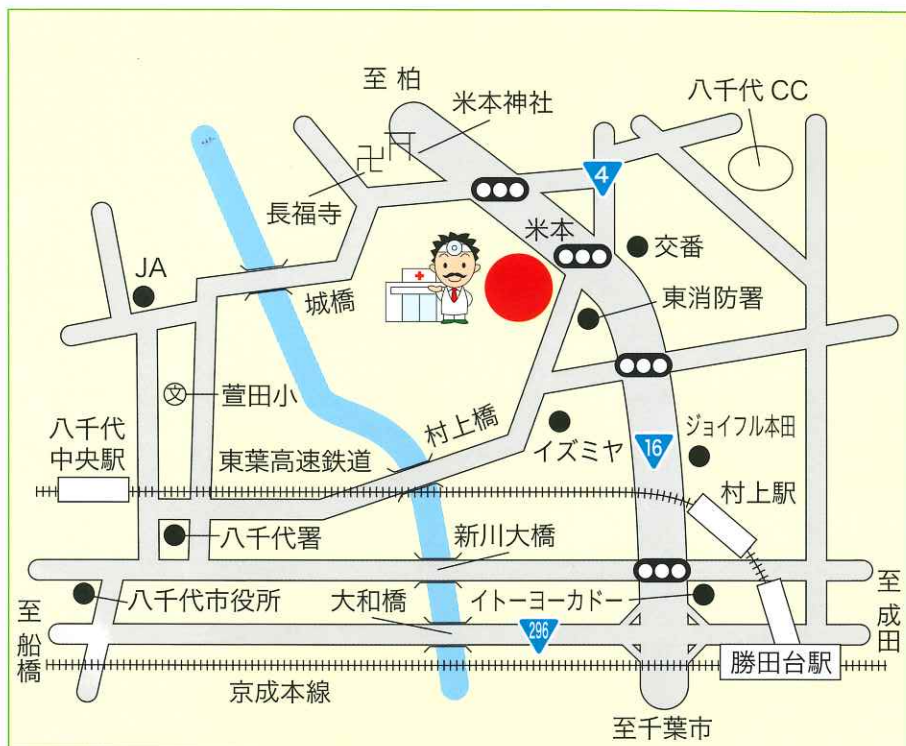




● 病院周辺マップ ●



ACCESS

〒276-0015
千葉県八千代市米本1808番地
TEL: 047-488-1555
FAX: 047-488-1552
E-mail: chiba@yachiyo-reha.com
<http://www.yuaikai-yachiyo.jp/>

● 電車・バスご利用の方

京成電鉄 勝田台駅下車後、東洋バスへ
東葉高速鉄道 勝田台駅下車後、東洋バスへ
東洋バス 米本団地行
八千代リハビリテーション病院下車すぐ

● お車をご利用の方

国道16号線柏方面よりお越しの方
米本交差点を右折、病院後方入口へ
国道16号線千葉方面よりお越しの方
米本交差点を通過、病院正面入口へ

協力施設

CEDAR 株式会社シダー
あおぞらの里デイサービスセンター
介護付有料老人ホーム ラ・ナシカ

退院後、八千代市を中心に7ヶ所にあるデイサービスセンターと、
3ヶ所にある介護付老人ホームで、継続したトレーニングを受ける
ことができます。また、随時、見学も可能です。

八千代
デイサービスセンター
千葉県八千代市高津699-1

薬田台
デイサービスセンター
千葉県船橋市薬田台4-14-16

花見川
デイサービスセンター
千葉県千葉市花見川区畑町467-5



株式会社シダー
関東本部
〒276-0036
八千代市高津699-1
TEL 047-458-7871
FAX 047-458-3647



(その他、六高台・新柏・馬橋・鎌ヶ谷と合わせて県内に7ヶ所)

ラ・ナシカこぶけ
千葉県千葉市稲毛区
小深町261-10

ラ・ナシカたかしな
千葉県千葉市若葉区
東寺山町770-8

ラ・ナシカあすみが丘
千葉県千葉市緑区
あすみが丘8丁目37-10



社団法人 巨樹の会

八千代リハビリテーション病院

YACHIYO REHABILITATION HOSPITAL

〒276-0015 千葉県八千代市米本 1808 番地
TEL:047-488-1555 FAX:047-488-1552

【診療時間】 月～土曜日 午前 9:00～午後 5:00 【休診日】 日曜日・祝日 (入院患者さんの診療は行っております)

基本理念

「手には技術 頭には知識 患者様には愛を」

当院では、リハビリテーションの役割として、
「障害を受けた者を彼のないうる最大の

1. 身体的 2. 精神的 3. 社会的 4. 職業的 5. 経済的

な能力を有するまでに回復させることである」

を目標に掲げ、各専門職と連携をとり、患者さんの
早期在宅復帰をサポートしていきます。



【診療科目】 リハビリテーション科 【病 床】 83 床 【施設基準】 回復期リハビリテーション病棟入院料 I 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) 運動器リハビリテーション料 (I)

【施設概要】 敷地面積 16,238.39 m² 延床面積 4,275.37 m² 【屋外リハビリ歩行路】 1 周 200m 【面会時間】 午後 2:00～午後 8:00 【駐車場】 有



ごあいさつ

八千代リハビリテーション病院
は、回復期リハビリテーションの
専門病院として平成18年4月1日
に開設されました。

脳血管疾患や大腿骨頸部骨折な
どにより身体機能の低下を来した
患者さんを急性期病院から引継
ぎ、集中的かつ効果的にリハビリ
テーションを行い、歩行をはじめ
とした日常生活動作を改善し、自宅
に戻って不自由なく生活できるようになっていただくことを目標
にしています。そのために、リハビリテーションプログラムを医師、
看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワ
ーカー等が共同で作成し、365日休みなく密度の濃いリハビリテ
ーション訓練を提供して、高い在宅復帰率を得ております。今後も
地域の方がたや医療機関に信頼される病院を目指して、努力したい
と思います。



是非、見学にお越し下さい。



基本方針

1. 安心・安全な医療

学問的に高い水準の安心・安全な医療を提供し
ます。そのために必要な施設・設備の整備拡充に
努めます。

2. 回復期リハビリテーション医療

患者さん・家族と医療情報を共有し、回復期リハ
ビリテーション病院として入院から在宅まで一貫
した、患者さんのニーズに沿った安心できるチーム
医療を提案します。

3. 地域医療

地域の医療・福祉施設と密接な連携をとり、寝た
きり「ゼロ」、在宅復帰を目標に誰でも安心して
利用できる、回復期リハビリテーション病院を
目指します。

1. 回復期リハビリテーション病院

回復期リハビリテーションに特化した病院です。急性期から回復
された患者さんに、出来るだけ早期から、高密度のリハビリテ
ーションを提供し、患者さんの自立を助け、寝たきり「ゼロ」を目標に、
自宅、職場に復帰するお手伝いをいたします。

2. 365 日のリハビリ提供体制

発症からできるだけ早く、そして集中的なリハビリを行うことが
効果的と言われています。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
によるリハビリサービスを土・日・祝日を含め、365 日提供します。

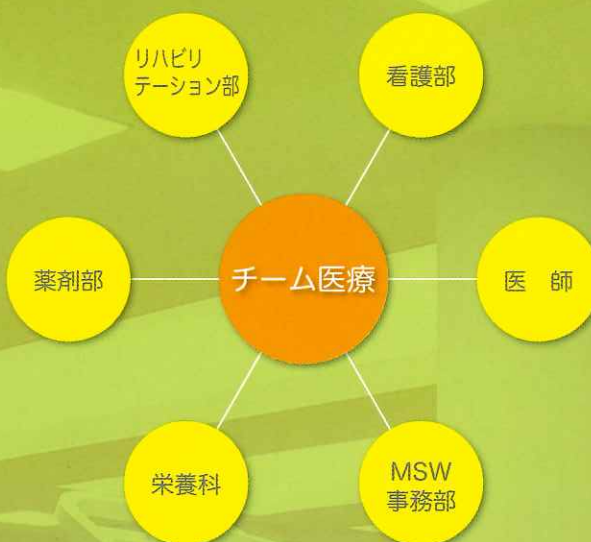
3. 地域医療

地域の急性期の病院、診療所、介護福祉施設と密接な連携を持ち、
地域完結型医療を担う一員として、患者さんが切れ目のない医療・
介護サービスを安心して受けられるお手伝いを致します。もし
入院中に手術などが必要になるような事があれば、ただちに適切
な処置が受けられるように、地域の数力所の急性期病院と連携を
しています。



チーム医療

最新の設備を用い、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が看護部をはじめ各専門職種とチームを作る事により、情報を共有し、起床時から就寝時まで 365 日リハビリテーションを提供致します。



「回復期」とは？

集中的なリハビリテーションによって、機能回復が最も期待できる時期です。

リハビリテーション部



副院長
田中 朋美
作業療法士



リハビリ部長
今井 基次
理学療法士



理学療法士

理学療法では、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの基本的な動作の回復を目的としたリハビリを行っています。また、電気などを用いた治療やマシンを使った筋力トレーニングで社会復帰に必要な体力面の強化を行います。



作業療法士

作業療法では着替えやお風呂などご自宅を想定した日常生活の訓練を中心に行っています。また、家事動作や職場復帰のために必要な訓練及び園芸や書道などの趣味的な活動も行っています。



言語聴覚士

コミュニケーション障害をもった患者さんに、機器等を使って、あるいはジェスチャーや描画などによって言葉や意思を引き出す訓練を行っています。また嚥下障害のある方には食事を安全に、よりおいしく楽しく食べられるように食べ方の訓練を行っています。



リハビリテーションの必要性を地域へ



看護部



看護部長
宮腰 佐和子

看護部委員会

- ・教育委員会
- ・業務委員会
- ・褥瘡対策委員会
- ・院内感染対策委員会
- ・医療安全管理委員会
- ・風紀委員会
- ・レクリエーション委員会

～看護理念～

確かな知識と技術、豊かな感性

患者さん、ひとりひとりの笑顔大切に、心のこもった看護サービスを提供します。

私たちは、寝たきり「ゼロ」、在宅復帰を目標にリハビリテーション科と一体になり、病棟での日常生活に合わせ、「生活リハビリ」を看護の立場で行っています。入院当初より、患者さん・ご家族の方と話し合いをしながら、必要な日常生活動作の獲得に向けリハビリが実施できるよう、心身の状態を最良に整える為の看護を行います。患者さんが回復され、「この病院に入院してよかった」と笑顔でご自宅に戻っていただけるよう看護を行います。

【医療連携室】

入院当日から退院まで安心して診療を受けられるよう患者さんの相談窓口として日々努力しております。また、在宅サービス利用方法（医療保険・介護保険・福祉等）の選択など、在宅生活の支援のご希望があればお手伝いいたしますので、お気軽にご相談ください。



回復期リハビリテーションを必要とする脳血管疾患や大腿骨骨折などにより身体機能の低下を来した患者さんを対象に集中的かつ効果的にリハビリテーションを行い日常生活動作の改善、在宅復帰と寝たきりの防止を目的とした専門病棟です。リハビリテーションプログラムを医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー等が共同で作成します。

入院診療の流れ



◆回復期リハビリテーション病棟の対象患者

対象疾患	発症からの入院	入院期間
①脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態	2ヶ月以内	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷		180日
②大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、又は2肢以上の多発骨折の発症後、又は手術後	2ヶ月以内	90日
③外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後	2ヶ月以内	90日
④大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後	1ヶ月以内	60日
⑤股関節又は膝関節の置換術後の状態	1ヶ月以内	90日

入院までの流れ

◆病院間による電話相談

まずは、お電話又はFAXを頂き患者さんが回復期リハビリテーションの対象患者さんであるか症状やリハビリテーションの必要性を医学的に検討させていただきます。

◆患者さんのご家族による入院相談

まずは、お電話にて、ご来院可能な相談日を決めさせていただきます。相談日当日は、担当職員と面談のうえ、院内をご見学後、入院を希望される場合は、必要な手続きをとっていただきます。

※上記共に入院日が決定次第、紹介元病院担当者、ご家族の方へご連絡のうえお知らせいたします。

■お電話にて入院相談を伺います■

病院代表電話

TEL.047-488-1555

FAX.047-488-1552

担当：副院長 田中 社会福祉士（MSW）三浦・山本

【病院間の連絡】

医師または、MSWからの連絡のもとFAXにて情報提供書をいただき検討いたします。

【家族からの連絡】

相談日を設定し院内見学をして頂き確認のうえ手続きをとっていただきます。

入院日決定のお知らせ

入院



■ ウェルカムホール



■ 機能訓練室



■ 物理療法室



■ 2階大浴場



■ ダイニング



■ 病室（一般病室）



■ 屋外歩行訓練場



■ バス乗車訓練



■ 踏切り歩行訓練



■ 車の乗降訓練

より日常に近い環境の中で訓練を

リハビリ室の訓練だけでなく、患者さんの生活スタイルに合わせて病棟や屋外の遊歩道を利用して種々の市街地訓練等も行っています。在宅生活をイメージした訓練を早期から行うことで、1日でも早く住み慣れたご自宅に復帰していただけるようお手伝いしています。

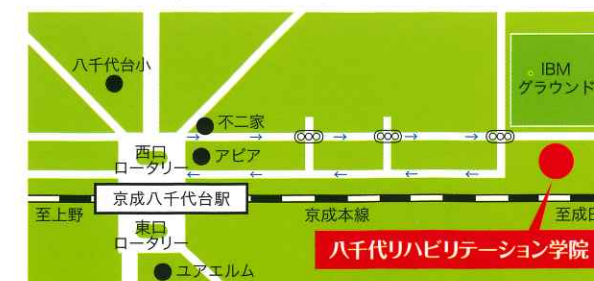
協力施設

YACHIYO REHABILITATION COLLEGE



学校法人 福岡保健学院 RYC 八千代リハビリテーション学院

理学療法士、作業療法士養成を目的とした昼間部（3年制）、夜間部（4年制）の専門学校です。リハビリテーションの専門知識や技術はもちろん、対象者の立場に立って思考することのできるエキスパートを目指しております。



〒276-0031 八千代市八千代台北 11-1-30
TEL 047-481-7320 FAX 047-481-7321
<http://www.yachiyo-reha.jp/>
info@yachiyo-reha.jp